

本を使った調べ学習の手引き② ~まとめ編~

台東区立中央図書館

1. 本を読んで分かったことを記録しよう

本を読んで分かったことは、きちんと記録しましょう。あとで見返したり、見比べたいときに便利です。また、まとめを作るときに必要な情報となることもあります。

① メモを取るとき

知りたいことについての情報を見つけたら、すべてを書き写すのではなく、必要だと思うことをまとめて書きましょう。そのほかに、次のようなことをメモしておきましょう。

- 本のタイトル
- 著者（本を書いた人）
- 出版者
- 出版年（本が発行された年）

⇒これらは、本の一番最後（なければ最初の方）に、「奥付」という形で書いてあります。

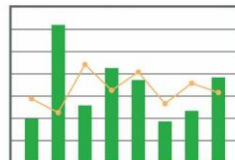
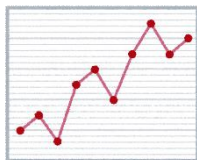
- 情報が何ページに書いてあったのか

また、数値やグラフなどのデータを使う場合は、

- データが取られた（調査された）のが何年か
- 誰が調査したデータか もメモしておきましょう。

現在のことを調べる場合は、データはできるだけ最新のものを使いましょう。

出典についてもきちんとメモをしましょう。



出典：△△△△

イヌとネコの祖先をさかのぼっていくと、約6000万年前にいた「ミアキス」という哺乳類にたどりつきます。

- 『くらべてわかる！イヌとネコ』
- 大野瑞絵
- 岩崎書店
- 2015年
- 19 ページ



出典とは・・・
故事・成語、引用文など
の出所である書物のこと



② コピーを取るとき

コピー機がある図書館では、知りたいことが書いてあるページを、コピーすることもできます。記録したいことが多いときや、図などがあるときに便利です。

本は、書いた人の権利（著作権）を守るため、1冊すべてをコピーすることはできません。必要なところだけコピーして、それを自分の言葉でまとめるようにしましょう。

また、そのコピーには、どの本か忘れないように、本のタイトルや著者など「①メモを取るとき項目」を書いておきましょう。

コピーについて分からないときは、図書館の人に聞いてみてください。



2. 調べたことをまとめよう

調べたことはただ書き写すのではなく、何を発見し、何を学んだかをまとめていきましょう。分かったことを集めて、その情報から、自分なりの結論・意見を出すことが大切です。

① まとめの作り方

まとめには、次のようなことが書いてあると、分かりやすくなります。

- ・ タイトル (題名)
- ・ 調べたきっかけ、理由
- ・ 調べる前の予想
- ・ どのように調べたか
- ・ 分かったこと
- ・ 考えたこと (結論、感想・気付いたこと)
- ・ 参考資料 (調べる時に使った情報)



② 著作権について

本の文章・図は、「著作権法」という法律で守られています。そのため、調べた文章をすべて写すことや、調べたことをそのまま自分の意見として使うことはできません。

調べた文章をそのまま使いたい場合は、「」(かぎかっこ)などで囲ったり、段落をわけたりして、自分の意見とは区別して使います。これを「引用」と言います。

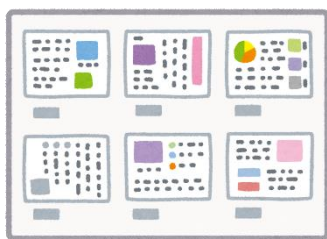
【引用の仕方】

- ・ 自分の意見とは区別できるようにして、そのままの文章をのせます。
- ・ どこから引用したのか (誰から聞いたのか、本の場合は本のタイトル・著者名・出版者) を必ず書きます。
- ・ 引用した文章がメインにならないように (自分の意見がメインになるように) 気を付けましょう。

3. まとめたことを発表しよう

せっかく調べたことをそのままにしておくのはもったいないですよ。夏休みの宿題として提出したり、友達や家族に見せたりして、発表しましょう。

まとめて誰かに発表するためには、レポートを作る、新聞を作る、本を作る、言葉で発表する、音声や動画にする などたくさん方法があります。テーマにあった方法を考えてみましょう。



【この手引きをつくるのに参考にした本】

『12歳からのインターネット ウェブとのつきあい方を学ぶ36の質問』 荻上チキ/著 ミシマ社

『学校で知っておきたい著作権 ①本の一部をコピーして授業で配ってもいいの?』 小寺信良/著 汐文社

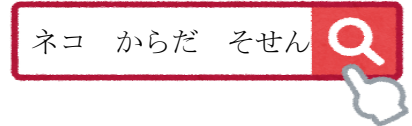
※参考 本以外でも調べよう

① インターネットでも調べよう（インターネット検索）

インターネットで調べると、手軽に、最新の情報を知ることができます。

(ア) 検索の仕方

検索するときは、いくつかの言葉を使うと、知りたい情報が出てきやすくなります。言葉を、スペース(空白)でつないで検索してみましょう。



(イ) 正しい情報かどうか気を付けよう

インターネットの情報には、誰がどのように書いたのか分からないものも含まれています。検索して出てきた情報がすべて正しいとは限りません。情報の発信元（だれが作ったページか）を注意して確認しましょう。

【確認事項】

1. ホームページがどのような人・組織・団体によって運営されているか
2. ホームページ運営者の連絡先が書かれているか
3. 更新した日付が書かれているか
4. 新聞や本、他のホームページと比べて内容に間違いはないか

(ウ) いくつかのサイトを見比べてみよう

本と同じように、1つのサイトで知りたいことがわかったとしても、他のサイトも見てみましょう。また、本や新聞と見比べてみることも大切です。

(エ) インターネットを利用する上での注意点

1. 掲示板などで自分の名前や連絡先などの情報を書き込まない
2. むやみにファイル等をダウンロードしない
3. 自分や家族のIDやパスワードはしっかり管理する。

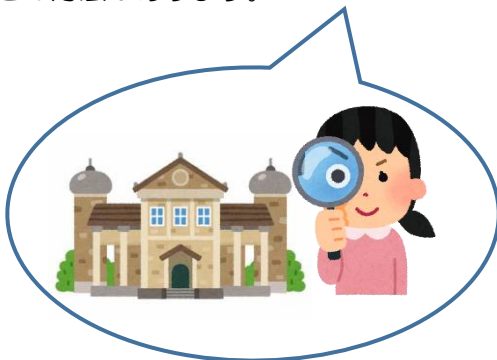


② その他の調べ方

本やインターネットで調べるほかにも、知りたいことを知る方法として、

- ・自分でやってみる（実験）
- ・まわりの人や専門家に聞いてみる（インタビュー）
- ・実際に見てみる（博物館・資料館など）

などの方法があります。



調べた内容は、本で調べたときと同じように記録してまとめましょう。

①調べたきっかけ

飼っているネコが、体長より高い木にジャンプして、どうしてそんなことができるのか調べたいと思った。

②予想

ネコのからだのつくりが人間とは違って、ネコの祖先の身体能力が高かったのではないかな。

③調べた方法

- ・図書館の本で調べる・インターネットで調べる・ネコを観察する

④分かったこと

ネコの祖先…現在のネコの一番近い祖先は「リビアヤマネコ」とされているが、さかのぼるとイヌと共通の祖先「ミアキス」である。ネコの祖先は単独で獲物をまらぶせし、そっと近づいて一気におそいかかるという狩りの方法をとっていた。仮に失敗しても手助けしてくれる仲間がいないので、確実にしとめるための一瞬のスピードや瞬発力、ジャンプ力が優れていた。現在のネコも体長の5倍もの高さまでジャンプできるといわれている。

ネコのからだ

尾…走ったりジャンプしたりするとき、からだのバランスをとる。また、ネコ同士のコミュニケーションに大切な役目をはたす。

あし…指は前あしが5本、後ろあしが4本。前あしは獲物をつかまえやすく、後ろあしは地面を強くけて走ったり、ジャンプしたりしやすい形になっている。



目…黒目の部分の大きさが、まわりの明るさによってかわり、目に入る光の量を調整できる。目の中に「タペタム」という反射板があり、うす暗いところでも物がみえる。

ひげ…鼻のまわりのほか、目の上やあごの下にはえている。さわったものや、空気の小さな動きを感じることができる。

爪…曲がってとがったかぎ爪で、爪を出したり引っ込めたりできる。木にのぼるときに爪を出してすべらないようにできる。

《ネコのからだのここがすごい!》

- ・関節のつながりがゆるやかなので、人間より体がしなやか。
- ・後ろあしの筋肉が発達して、助走をつけなくても机の上などにとびのることができる。
- ・平衡感覚が優れていて、高いところから落ちてもしばやく体を回転させ、しっかりと着地できる。

⑤感想・気付いたこと

- ・ネコのからだのいろいろな部分にやくわりがあると分かった。
- ・よく観察してみるとひげが小刻みに動いていてまわりとの距離や風の動きを感じ取っているようだった。
- ・よそうのとおり、祖先の身体能力が高かったが、体長の5倍の高さまでジャンプできると知ってとてもびっくりした。腰の高さくらいの跳び箱で苦戦しているのでうらやましい。
- ・ネコ同士のコミュニケーションを調べる機会がなかったので、ネコ同士だとどういふ反応があるか見てみたい。

⑥調べる時に使った資料

『ポプラディア大図鑑WONDA イヌ・ネコ』 JKC・ACC/監修 ポプラ社/2015年

『イヌとネコのふしぎ101』 武内ゆかり/文 福田豊文/写真 偕成社/2016年

『くらべてわかる! イヌとネコ』 浜田一男/写真 大野瑞絵/著 林良博/監修 岩崎書店/2015年